

地質ニュース

昭和 40 年 3 月

第 127 号

1965

解 説	日本の天然ガス中のヘリウム……………牧 真 一… 1
	グリーン・タフ(緑色凝灰岩)(1) ……大 沢 櫻…10
	軽量骨材資源～火山礫(1) ……岡 野 武 雄…20
トピックス	松川地域の地熱開発着々と進む～3号井も成功～中 村 久 由…29
	石狩炭田北辺部音江山地域の地震探査結果……………須 貝 貫 二…30
講 座	音波探査講座(5)～解釈 I ～……………中 条 純 輔…34
	やさしい地質学～地下資源の話(3)～ ……岸 本 文 男…45
海外事情	インド各地の研究所をたずねて……………徳 永 重 元…50
	地学と切手……………堀 内 恵 彦… 9

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

紅 れ ん 石 愛 媛 県 別 子 鉱 山 周 辺

紅れん石は 1853年に Piedmont の St. Marcel から Kenngott によって発見され 産地に因んで Piedmontite (ピーモンタイト) と命名された鉱物である 現在は d を省略して Piemontite とされている 化学成分は $Ca_2(Al, Fe, Mn)_8Si_3O_{12}(OH)$ である 肉眼では 色が特長的で 紅色から紫紅色のきれいな鉱物で 柱状ないし針状の結晶である マンガンを Mn_2O_3 として 5～22% 含む 鏡下では 黄色 橙色 紅紫色の多色性を示すので 容易に鑑定できる この写真の中央部にある柱状のものが 紅れん石で 周囲は石英である (広)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社